

00_演説

1 聞け！ 皆の物、人間共は性懲りも無くまた勇者をよこした。

2 妾が魔王に就任し、初の勇者であった、勇者とは如何ほどの者かと期待しておった
3 のだが、

4 所詮は下等な人間、妾の敵では無かった！

5 見ろ！ コレが勇者だ！ なんと小さな体だろうか！

6 このような脆弱極まりない存在にこれ以上好きにさせていいのか？

7 否、断 じてそのような事を許してはならない！

8 勇者なき人間共に、今こそ我ら魔族の力を思い知らせてやろうではないか。

9 刻^{とき}は来た！

10 我らの強さを、高潔さを、奴らの魂に刻みつけるのだ。

11 手始めに勇者を拷問した後、ここで処刑する！

12 SE 歓声

13 傲慢な人間共を許すな、下等な人間共を許すな、

14 憎悪をたぎらせ、魂を燃やせ！

15 全てを捨てて、今こそ立ち上がれ！

01_プロローグ

20

よいか、勇者は妾が直々に相手をする。

21

お前達は決して近づいてはならん、よいな。

22

SE 重たい扉が開く音 SE 近づいて来る音

23

調子はどうかな？ 勇者君

24

そんなに睨まないでよ、こわ〜い……

25

勇者君に会いたくて会いたくて急いで来たのに……

26

どうしたの？ そんな顔して……ああ、雰囲気違うから驚いてる？

27

ここには私と勇者君しかいないんだから取り繕う必要なんてないからねえ

28

そんな事よりい、何しよっか んふふ〜

29

え、拷問？ なんで私がそんなことするの？

30

あー、さっきの聞こえてたんだ……意識がないと思ってたのに……恥ずかしいなあ……

31

ほら、私一応魔王だからああいう事もしなくちゃだめなの、

32

あ、処刑するとも言ってたっけ……

33

台本にそう書いてあったから言っただけだよ……

34

大丈夫！ あれは全部嘘！ 嘘だから！

35

だって君は、今日から私のペットとして一緒に暮らすんだからね！

36

殺したりしないよ〜 んふふ〜

37

ん？ 聞こえなかった？ ペットだよ〜、ペット

45 うれしいでしょ？ 私のペットにしてもらえて

46 なんてって……うーん、君がかわいいから？

47 それに直接会った人間は君が初めてだし……

48 資料で見る人間は同じ顔に見えてただけどお……

49 君はなんだか凄く可愛く見えたの

50 それに、ずっと人間に興味があつたし……

51 とにかく君は私のペットになるの、もうコレは決定事項！

52 君は私に負けたんだから、私がどうしようと勝手でしょ？

53 君に拒否権なんてないんだよ！

54

55 んつと、じゃあ、説明したところで……何しよつか？

56

57 うーん、とりあえず君のこと、私に教えてくれないかなあ？
君は何が好き？ 何か嫌いな物はあるかな？

58

魔族の食べ物はたべられるの？ ふふっ

59 間

60

ねえ、どうして無視するの？

61

そんなに私のペットになるのが嫌なのかなあ？

62

なんで？ 私のペットになれるのに嬉しくないの？

63

やっぱり拷問しちやおうかな……なんて

64

65

あ、こらっ！ 暴れないの！ もう、ちょっとおとなしくしてっ！

66

SE 衝撃音

67

ほら、私がちょっと抑えるだけでもう動けない

68

ね？ わかるでしょ？ 勇者君じゃ私には勝てないの！ めっ！

69

だから、私の言うことを聞いて？ ね？ それとも、このまま処刑されたいの？

70

「えー、そんなあ……でも、まあ……」

「処刑はまだ先だから！ それまでは私のペットとして可愛がってあげる」

「処刑の日まで殺された方がマシと思えたら、ちゃんと殺してあげるからね」

02_壁ドンキス手コキ

75
76
77 じゃあさっそく可愛がってあげるね
78 まずは、躑をしないとね……
79 怖い？ でも逃げられないね……抑えつけられちゃってるもんね……
80 大丈夫だよ、痛い事なんてしないから……
81 いいことだよ……すっごく気持ちいいこと……
82 んっ、ちゅっ、ちゅっ、あむ……あむ……んちゅ、んんっ、んちゅっ……
83 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ……はむ、ちゅ、はむ、んん……んちゅっ、ちゅっ、ん
84 ふう……はぁ……んん……んちゅっ、はむっ、ちゅっ、ちゅっ……
85
86 んふ、ごちそうさま
87 あれ？ どうしたの？ ビックリした？ 耳まで真っ赤だけど……
88 もしかして勇者君、キスは初めてだったのかなぁ？
89 黙っちゃって……はじめてだったんだぁ……かわいい……
90 言っただしょう？ いい事だって……んふふ
91
92 これから勇者君にいっぱいエッチな事して可愛がってあげる……
93 きつとすぐに私の事が好きになるよ……
94 逆らう気が起きなくなるぐらい気持ち良くして、
95 ずっつとココにいたい、魔王様に飼って貰いたいって思えるようにしてあげるから
96 ね……勇者君が私の物になるまで何回も何回も……んふふっ
97
98 あれ、何だか下の方が大っきくなってるみたいけど……
99 いいのかなぁ、勇者なのに魔王相手にオチンチンおっきくしちゃって……

- 100 エッチな事でも負けちゃうのかな？ んふふっ
- 101 ん〜？ 違うの？ ほんとうかなあ〜？ じゃあもう一回して確かめてみよっか
- 102 ……
- 103 ほ〜ら、ちゅ〜、
- 104
- 105 んっ、ちゅむ…… んちゅっ、ちゅっ…… んあむ、はむっ、ちゅっ……
- 106 んちゅ…… んんっ…… んちゅっ…… はむっ、んちゅぷ…… ちゅぷ……
- 107 んはあ、レロレロレロ…… はむ、ちゅ、はむ、ん……
- 108 んちゅっ…… ちゅっ…… んふう…… はあ…… んん…… んちゅっ……
- 109 はむっ…… ちゅむ…… はあ……
- 110
- 111 んふふふ、やっぱり
- 112 勇者君の嘘つきっ 勇者君かわいい…… キスだけでオチンチンこんなにしちゃって…… オチンチンくるしいでちゅね〜？ 服の上からオチンチン撫でてあげる……
- 114 ……
- 115 ここを触ると気持ちいいのは人間も一緒だよな……
- 116 ほら、スリスリって…… んふふっ
- 117 ん…… はあ…… すう…… ん…… すう…… すう…… （吐息）
- 118 スリスリ気持ちいいね…… 勇者君の事いっぱい気持ち良くしてあげる……
- 119 いいんだよ気持ちよくなって…… 私のお…… 魔王様の手で気持ち良くなっちゃお……
- 120 ……
- 121 ん…… ふう…… はあ…… はあ…… （吐息）
- 122 ねえ、またちゅーしよっか、
- 123 ちゅーしながらオチンチンスリスリってされると気持ちいいよ……
- 124
- 125 あれ〜？ どうしちゃったの？

126 そんなにお口閉じちゃって チューはもう嫌なのかなあ？ んふふ
127 ホントに勇者君はかわいいなあ、それで抵抗してるつもりなんだあ……
128 そんなことしたって無駄だよ……ほら……

129
130 んっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……んちゅ、んん……んふふっ

131 んちゅっ、んふう、ちゅ……ちゅぶ……はむ、ちゅ、はむ、んん……

132 ほらね、無駄だったれしょ？ んちゅっ、ちゅっ、んふう……

133 んちゅっ、はむっ、ちゅむ……はん、ちゅっ……ちゅぶ、ちゅっ、んちゅっ……

134

135 んふふ なんだかさつきより情けないお顔になってる……かわいい

136 もしかして、勇者君は無理矢理されるのが好きなのかなあ？

137 抑えつけられて、無理矢理キスされて……

138 興奮しちゃったのかなあ？ クスクス

139

140 これも違うの？ 必死に否定する勇者君かわいい。

141 でもあ、そんなかわいいお顔でイイヤヤしても全然説得力ありまちなよ

142 ほら、もっとかわいい顔になっちゃおうか……

143

144 ぎゅってしてあげる……ほら、勇者君、ぎゅ……う

145 勇者君は童貞だから……女の人の匂いとか体に弱いんだよね……

146 ほら、どう？ 私の胸の中……柔らかくて、いい匂いがしてエッチだね……

147 これが私の……ご主人様の匂いだよあ、いっぱい匂い嗅いで覚えようね……

148 すぐにこの匂いも大好きになるからね……んふふっ

149

150 私、勇者君の事もっと知りたいなあ……

151 勇者君の好きな物はなあに？ 嫌いな物は？

152 どうすれば、もっと気持ちよくなってくれる？
153 どうすれば私のモノになってくれる？

154 ねえ、教えて？

155 んふふっ、教えてくれないの？

156 私の匂いに当てられて頭ぼーっとして考えられないかな？

157 だったら、体に聞いちゃおうかなあ…… んふふっ

158 勇者君の気持ちいいところ……教えてね……

159

160 ほら、脱ぎ脱ぎしよっか…… もう暴れちゃだよ

161

162 大人しくしてね、うん、いい子、いい子、 んしょっ……はい、よく出来ま
163 した

164 オチンチンさんこんにちわ、 んふふっ かわいいオチンチン

165

166 あれえ、もうオチンチン濡れてる……

167 ちょっとなでただけなのにエッチなお汁お漏らししちゃったんだ…… んふふっ

168

169 ねえ、どうして？ どうしてここ、濡れてるのかなあ……

170 私にチューされて、おちんちんスリスリされるのがそんなに良かった？

171 わかってたけど、勇者君オチンチン弱々だね

172 勇者君情けない……クスクス

173 この弱々オチンチン……指で先つば虐めてあげるね……

174 こうやってえ、指先でつまむみたいにしてえ……

175

176 くちゅくちゅ、くちゅくちゅくちゅくちゅ

177

んふふっ ビクンビクンってなって、えっちなお汁どんどん溢れてくる……

178 勇者君よわい 弱々オチンチンか・わ・い・い……
179
180 ん？ 違うの？ 弱くないの？ほんとにい？
181 でもお、先っぽをくちゅくちゅってするとお……ほらっ、ビクンってなった
182 ああん、嘘、嘘、ごめんね、勇者君は強いよね……
183 お詫びにおちんちんシコシコってして気持ち良くしてあげるから許して
184
185 んふっ、じゃあ触ってあげる……ほあら、シコシコ、チコチコチコって……
186 もつお汁がいつぱい出てるからヌルヌルしてエッチな音しちゃってる……
187 んふふっ 気持ちいいね……
188 勇者君のかわいいオチンチンいつぱい気持ち良くしてあげるからね……
189
190 あ、でも一つだけ私と約束ね……
191 いい、勇者君、君は私の所有物になったんだから、
192 私が出していいよって言うまで勝手にピュッピュしちゃダメ
193 透明なお汁はいいけどお……白いのピュッピュしたくなったときは、
194 私に許可を取ること……「いっていいですか？」って……
195 私がいいよって言うまでピュッピュはあ、がーまんっ だよっ
196 勇者君は強いんだから我慢するなんて簡単だよな？
197 もし勝手にだしちゃった時は……お仕置き、だからね んふふっ
198 いい？ ピュッピュしなくなったら「いっていいですか？」だよ
199 いやでも、勇者君に拒否権はないの んふふっ
200
201 勇者君 勇者君……ゆ・う・しゃ・くん んふふっ 呼んだだけだよ
202 本当に勇者君はかわいい……ねえ、またチューしてもいい？
203 まあ、嫌っていてもするんだけど……ほら、ちゅー

204 んっ、ちゅむ、んちゅっ、ちゅっ……んあむ、はむっ、ちゅっ……

205 んちゅっ、ちゅっ、んふう……はあ……んん……んちゅっ、

207 はむっ、ちゅむ……はあ……

208 ほら、どお？ んちゅっ、んちゅぶぶっ……んふう……

209 キスされながらおちんちんシコシコ……ってされるとお、んちゅっ、ちゅっ……

210 ダメなのに気持ち良くて幸せになっちゃうね んふう んちゅっ、ちゅっ、

211 いいんだよ、ダメにな……もっとダメになっちゃあ？

212 んっ、ちゅむ、んちゅっ、ちゅっ……んあむ、はむっ、ちゅっ……

213 んちゅ、んんっ、んちゅっ……んはあ、レロレロレロ……んちゅっ、んふう

214 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ……はむ、ちゅ、はむ、んん……

215 んちゅっ、ちゅっ……ちゅむ……ちゅば……はあ……

216

217 なんだか、息荒くなってきたけど、もうびゅっぴゅしたくなっちゃった？

218 じゃあこのままピュッピュ……ってしちゃおか……んふう

219 ほら、ピュッピュしたいときはなんて言うんだっけ？

220 恥ずかしいの？ 大丈夫だよ、ココにはだーれもないよ？

221 君と私のふたりだけ……

222

223 それに……

224 いいの？ 我慢できずにお漏らししちゃって……

225 勇者君が弱いつて証明しちゃうことになるけど……

226 私に負けて情けなくびゅっぴゅするの？

227 私に許可をもらって勇者君が強いつて証明するの……

228 どっちがいいか、分かるよねえ？ クスクス

229

230 だったら……ほら、言ってごらん？ 逝っていいですか？ って……
231 ほあゝらあ……

233 んふふ、よく言えたね、勇者君偉い、
234 でもあ………ダーメっ

235 ピュッピュは許してあげなーいつ、んふふっ

236
237 許可して貰えると思った？ ざんねーん、

238 ほら、がんばって我慢して……このままだとお仕置きだよ？

239 もっと言ってごらん？ 逝っていいですかって……

240 かわいく言えたら許可してあげるかも知れないよ……んふふっ、

241 手、早くするけど、頑張って我慢してねえ……

242 ほらほらほら、おちんちん気持ちよくなっちゃえ……

243

244 んふふっ、我慢できない？ ダメだよ、我慢しなきゃ……がんばって……

245 じゃないと、こわーいこわーいお仕置きだよ……

246 それに負けちゃっていいの？ 勇者君は強いんじゃないっけ？

247 ここでお漏らししちゃうのカッコ悪いでちゅよあゝ、んふふっ

248 ああ……勇者君の我慢してるすっごく顔かわいい……

249 そんなかわいい顔見せられたらもっともっと虐めたくなっちゃう……

250

251 おまけここから

252 ほら、ぎゅってしげあげる……

253 甘いに匂いがして我慢できなくなっちゃうでしょ……

254 勇者君は、このまま許可を貰えずに無理矢理ピュッピュさせられちゃうの……

255 抑えつけられて、無理矢理オチンチン気持ち良くされて、

256 情けなくお漏らししちゃうんだよ……んふっ
257 ほら、もう出ちゃうよ、あ、あ、出ちゃう、出ちゃう、

258 白のピュッピュしちゃう、あ、あ、出る出る、あ、あ、あ、あはっ

259 射精

260 はい、ピュッピュ、お漏らしぴゅっぴゅっぴゅ

261 匂い嗅ぎながらいっぱいだそうね……

262 よわいおちんちんから、ぴゅるぴゅるぴゅるって……んふっ、

263 気持ちいいね……ほら、全部だして……ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅっぴゅ

264

265 おまけここまで

266 あーあ、出しちゃった……負けちゃったね……

267 言いつけ守れなかった悪い子にはお仕置きしないと……

268 お仕置きはねえ……………

269 ちゅっちゅの刑だぞ

270

271 んっちゅっ、ちゅっ、

272 も、勇者君かわいい！ んちゅっ

273 ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、

274 勇者君の情けないお顔すっつつごく可愛かった！

275 ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ

276 やっぱり勇者君は私のペットにする ちゅっ、ちゅっ、絶対絶対私のモノにする！

277 んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……

278 だってこんなにかわいいんだもん……殺してあげない

279 ちゅっ、ちゅ、ちゅっ、んっちゅっ

280 はい、おしまい

281

282 あ、そうだ……首筋のこの辺りにい、んちゅーーー、んん……んぱっ

283 ほら、ついちゃった キスマーク

284 かわいいから取られないように目印付けておかないとね んふふ

285

286 いい子にしてたらまた気持ちいい事してあげるからね

287 またね 私のかわいい勇者君 ちゅっ

02_おまけ

289

290 ほら、ちゅーしてあげる……

291 んちゅっ、ちゅっ、んはぁ、れるれるれる……

292 勇者君は、んちゅっ、

293 このまま許可を貰えずに無理矢理ピュッピュさせられちゃうんだよ……んちゅっ

294 ちゅっ、れるれるる……

295 抑えつけられて、無理矢理オチンチン気持ち良くされてえ、あむ、んちゅ……

296 情けなくお漏らししちゃうんだよ……ちゅっ、ちゅっ……

297 もつでちやいそつ？ んふふっ、ちゅっ、ちゅっ、んちゅっ、んふう、ちゅっ、

298 んはぁ、れるれるれるる……ちゅっ、んちゅぶ、かわいい、

299 ちゅ、ほら、出しちゃえ、キスされて情けなくぴゅっぴゅしちゃえ、んちゅっ、

300 ほら、ちゅっ、ちゅぶぶ、ちゅむ、ちゅるるるるるっ

301 射精

302 んふふっ、んちゅっ、ちゅっ……んはぁ……レロレロレロレロ……ちゅっ、

303 ちゅっ、なちやけなうい、んふふっ、ちゅっ……ちゅむ……

304 んっ、ちゅむ、んちゅっ、ちゅっ……んあむ、はむっ、ちゅっ……

305 んちゅっ、ちゅっ、気持ちいいねえ んん……んちゅっ、

306 ちゅっ、はむっ、ちゅむ……はぁ……

03_両耳舐め手「キ

308
309 ゆ・う・しゃく~~~~ん 会いにきたよ~~~~ん

310 って、あゝ、またご飯食べてない……

311 どうして？ これとか果物だし、そんなに人間が食べてるものと変わらないと思う

312 けど……

313 SE 食器の音

314 ほら、私が食べさせてあげるから、お口開けて……あゝん……あゝん！

315 んもう……美味しいのにどうして食べてくれないの……

316 あ、そうだ……だったらあ……はぐ……もぐもぐもぐ（咀嚼）

317 ほら、勇者君、ご飯だよ

318 んゝ、ちゅっ、んあああんん、ちゅっ……んふふ

319 ちょっと汚いけど……食べてくれた

320 ほら、もう一回ね……

321

322 んゝ、ちゅっ、んあああんん、ちゅっ……んふふ

323 ん？ どうしたの？ 嫌なの？ ダーメ！ だって勇者君が食べないのが悪いんだ

324 よ……

325 ほらもう一回、んゝ、ちゅっ、んあああんん、ちゅっ……んふふ

326 ちょっと楽しくなって来ちゃった……ほら、全部食べちゃおうか？

327 間

328 はい、うちそうでした

329 全部食べて偉いねゝ、よしよし

330

331 じゃあ最後にお水飲ませてあげる……

332 くらゝ逃げないの！ んっ……（水を口含む）

333 ん〜、ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ……んふふっ
334
335 んっ、ちゅっ、ちゅっ、あむ……あむ……んちゅ、んんっ、んちゅっ……
336 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ……はむ、ちゅ、はむ、んん……んちゅっ、ちゅっ、ん
337 ふう……はあ……んん……んちゅっ、はむっ、ちゅっ、ちゅっ……ぶはあ……
338 あれあれ〜？ どうしたの〜？ オチンチンおつきくなってるけど……
339 ちゅーしてエッチな気分になっちゃった？ んふふ
340 かわいい……勇者君ちゅー好きだもんね
341
342 そんなかわいい勇者君に今日はちよつと面白い事してあげる……
343 今日はねえ、2人で勇者君を虐めてあげる……
344 ん？ もう一人……もう一人はあねえ……
345 わ・た・し　ちゅっ
346 どっちも私だよ　ビックリした？
347 魔王だからね　分身ぐらいできないと　ふふ〜ん
348 ただ、分身すると力も半分になっちゃうからあんまり使い道がないんだけど……
349 まあ、こういうときは便利だよねえ……
350 ほらほら、勇者君……今なら私の事、倒せるかもしれないよ……なんて
351 スキあり、んふふ　勇者君捕まえた〜
352 勇者君にピタって密着して……腕を抑えて……
353 次は、あしを絡めて……んふふっ
354 あ〜あ、動けなくなっちゃった
355 ほらほら、抵抗しなくていいのぉ？
356 すっごく情けない格好になってるよ……
357 ガニ股でオチンチンピーンって立つてて……なさけな〜い……
358 んふふふ
A

359 A んふふふ
360 抵抗したくてもできないんだよね……
361 左右から密着てされて、柔らかな感触で頭がしびれちゃう……
362 エッチな匂いがして頭がぼーっとして抵抗できない……
363 この情けなしい格好のまま、勇者君をいっぱい虐めてあげる……
364 あ、おちんちんさつきよりパンパンになってる……
365 虐められるの想像して興奮しちゃった？ほら、触っちゃうよ……いいの？
366 んふふっ ホントに抵抗しないんだね
367 いい子〜 それじゃあ触っちゃうね……
368 私は竿をシコシコっしてえ……
369 私は亀さんをいじめてあげる……ほら……んふふっ
370 あーあ、おちんちん全部隠れちゃった……お手々おまんこの完成〜
371 ほら、いくよ……シコシコ〜
372 めちぬちぬち〜
373 どお勇者君、きもちいい？
374 気持ちいいよね
375 だって竿と亀さん同時に気持ち良くしてもらってるんだもんねえ……んふふっ
376 この前みたいな可愛い顔、いっぱい見せてね……k
377 それにしてもこの前の勇者君はかわいかったなあ……食べちゃいたいくらい……
378 こっやってえ……え〜ろ……え〜ろ……んちゅっ、ちゅっ……れろれろ、
379
380 B ちゅっ、ちゅっ、ちゅー……っ
381 んふふっ また増えちゃったね、私のものだってし・る・しっ
382 B こっちも……え〜ろ……え〜ろ……ちゅっ、ちゅっ、え〜ろ、え〜ろ、
383 ちゅっ、ちゅっ、
384 こっちもちゅー……っ……んふふ〜

385

ねえ勇者君……勇者君の事、食べてもいい？ ダメ？

387

え、じゃあ……お耳で我慢してあげる

388

じつやって……はむ……はぐはぐ……

389

C

はぐはぐはぐ……ちゅっ……ちゅっ……はむ……はむ……はむ……ちゅっ、

391

はぐはぐはぐ……ちゅっ

C

あ、ビクンってなった……んふうっ、勇者君面白い

393

勇者君はお耳が弱いんだね……だったらこっいつのはづかな……？

394

あゝむ……んちゅっ……ちゅっ……

395

D

ちゅぶ……ちゅっ……ちゅぶぶ……

397

れるれるれる……んちゅっ……んふう……じゅぶっ……んちゅっ……

398

んれろっ、んじゅっ、んじゅ……じゅっ……んちゅっ……

399

ちゅむ……ちゅ、れるれるろ……ちゅっ……んちゅ……ちゅっ……

400

んちゅっ……んふう……じゅぶっ……んちゅっ……

401

んれろっ、んじゅっ、んじゅ……じゅっ……んちゅっ……

402

ちゅむ……ちゅ、れるれるろ……んちゅっ……んふう……じゅぶっ……

403

んちゅっ……れるれるろ……んちゅっ……んふう……じゅぶっ……

404

んちゅっ……んれろっ、んじゅっ、んじゅ……じゅっ……んちゅっ……

405

んちゅっ……んふう……じゅぶっ……ちゅむ……

406

んはあ、れるれるろろろろろ……ちゅっ……んちゅ……ちゅっ……

407

D

あーあ、体ビクビクしちゃってるよ……

409

それに、声でちゃってる……女の子みたいなあ、かわいい声……

410

気持ちいいんだ……でも、いいのかな、

411 男の子がそんな声だして……情けない
 412 でも、すっこくかわいいよ……勇者君の声……

413 もっと声聞きたいなあ……んふうっ

414

415 あゝ、うはあゝ、声我慢してるでしょ……お口とじちゃって……

416 そんなことしてもむづだ　勇者君は絶対私に勝てないんだよ　んふう

417 こっちのお耳も食べて、声我慢できないようにしてあげる……

418 勇者君じゃ私に勝てないって教えてあげる……

419

420 E　んふうっ　……んちゅっ……じゅぶっ……んちゅっ……んれろっ……

421　んちゅっ……んちゅっ……ちゅっ……んちゅっ……

422 はあゝ、れるれるれるれるる……んちゅっ……んふう……じゅぶっ……んちゅっ
 423 ……

424　んれろっゝんじゅっゝんじゅ……じゅっ……んちゅっ……んふう……じゅぶっ……

425　んちゅっ……んふう……んれろっゝんじゅっゝんじゅ……じゅっ……んちゅっ……

426

427 E　あゝむゝちゅっゝちゅっゝはむ……はむ……

428　んちゅっ……んちゅっ……れろっ……れるれる……んちゅっゝじゅぶっゝんちゅっゝ

429　んれろっ……んちゅっ……んちゅっ……ちゅっ……れるれるる……んちゅっ……

430　んふう……じゅぶっ……んちゅっ……んれろっゝんじゅっゝんじゅ……じゅっ……

431　んちゅっ……んちゅっ……れろっ……れるれる……んちゅっゝじゅぶっゝんちゅっゝ

432　んれろっ

433

434 F　んはあ……はあ……んちゅっ……

435　はあゝ、れるれるれるれるる……んちゅっ……じゅ

436　ぶっ……んちゅっ……んれろっ……んちゅっ……んちゅっ……ちゅっ……れるれる

437 れる……んちゅっ……んふう……じゅぷっ……んちゅっ……んれろっ、んじゅっ、
 438 んじゅ……じゅっ……んちゅっ……はぁ、れるれるれるれるれる……んちゅ
 439 っ……ちゅっ……れるれるれる……んちゅっ……んふう……じゅぷっ……んちゅっ
 440 ……んれろっ、んじゅっ、んじゅ……ちゅっ……ちゅっ……
 441 F 気持ちよかったら声らして……もつと素直になっていいんだよ……
 442 私に可愛い声聞かせて んふうっ
 443 はむ、んちゅっ、れろっ、れるれる、んじゅるるっ、じゅぷっ、んぷぷっ、んれろ
 444 っ、んじゅっ、んじゅじゅっ、んちゅっ
 445 んちゅっ、れろっ、れるれる、ちゅっ、ちゅっ、んふう……じゅぷっ、んちゅっ、
 446 んれろっ……ちゅむ……
 447
 448 G はぁゝむ、んちゅっ、んじゅ……じゅっ……んちゅっ……
 449 ちゅむ……ちゅ、れるれるろ……ちゅっ……んちゅ……ちゅっ……
 450 んちゅっ……んふう……じゅぷっ……んちゅっ……
 451 んれろっ、んじゅっ、んじゅ……じゅっ……んちゅっ……
 452 ちゅむ……ちゅ、れるれるれる……んちゅっ……んちゅっ……んふう……
 453 じゅぷっ……んちゅっ……んれろっ、んじゅっ、んじゅ……じゅっ……
 454 んちゅっ……んふう……じゅぷっ……
 455
 456 G お耳も気持ちいい……お手々おまんこ気持ちいい……んふうっ
 457 気持ちよかつひゃらぁ、もつと声らして……んちゅっ、
 458 かわいい声聞かせて……んちゅっ……
 459 はぁ……れるれるれるれるろ……んちゅっ……
 460 んちゅっ……ちゅっ……ちゅるっ……れるれるれる……んちゅっ……
 461
 462 H んふう んちゅっ……ちゅぷっ……んちゅっ……んれろっ

463 はぁ、れるれるれるれる…… んちゅっ……ちゅっ……ちゅぶっ……
 464 ちゅっ……れるれるれる……んちゅっ……んふう……
 465 じゅぶっ……んちゅっ……んれろっ、んじゅっ、んじゅ……
 466 じゅっ……んちゅっ……
 467 エ あゝぁ、声我慢できなくなっちゃっらね……んちゅっ、んぶぶっ
 468 それでいいんらよ……んちゅっ……ちゅむ……んはぁ、れるれるれる……
 469 お耳食べられて、頭のなかぐちゃぐちゃで何も考えられまぢえゝん、んぶぶっ
 470
 471 ー はぁゝむ、んちゅっ、んじゅ……じゅっ……んちゅっ……
 472 ちゅむ……ちゅ、れるれるれる……ちゅ っ……んちゅ……ちゅっ……
 473 んちゅっ……んふう……じゅぶっ……んちゅっ……
 474 ちゅむ……ちゅ、れるれるれる……んちゅっ……んふう……じゅぶっ……
 475 んちゅっ、んじゅ……じゅっ……んちゅっ……
 476 ちゅむ……ちゅ、れるれるれる……ちゅっ……んちゅ……ちゅっ……
 477 んちゅっ……んふう……じゅぶっ……んちゅっ……
 478 ー それでいいんだよ、勇者君は何も考えずに気持ち良くなつてればいいの……
 479 ちゅっ、ちゅっ……
 480 私に任せてくれたらいいっぱい気持ち良くしてあげるから……
 481 お手々もお耳も激しくして、もっと頭の中ぐちゃぐちゃにしてあげる……
 482
 483 ー はぁ……ぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃ、
 484 はぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、
 485 んはぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、んはぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……
 486 はぁ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、
 487 ー んぁ……んぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、
 488 はぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、んふう、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、

489 はぁ、ぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃ、ぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃ……はぁ……
490 んふう……はぁ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、
491
492
493 んふふっ、お耳ペロペロされて頭のなかぐちゃぐちゃになっちゃったね……
494 はっい、お馬鹿さんになっちゃったかわいい勇者君にしつつも……
495 何も考えられないだろうから、全部「ハイ」って答えればいいからね、
496 お返事は？
497 はい、よくできました じゃあいくよ……最初はお名前からね……
498
499 < 勇者君っ
500 ゆっっしゅっん
501 かわいい勇者くん
502 かわいいかわいい私の勇者君っ……
503 < ちゅっ……ちゅっ……んちゅっ……
504 んはぁ……ちゅっ……ちゅぱっ……
505 ちゅっ……ちゅっ……んちゅっ……
506
507 < じゃあ……からは質問ね……
508 勇者君はちゅーするの好き？
509 じゃあ……ちゅっ、お耳で囁かれるのは？ 好き？
510 じゃあじゃあ、私の声はすきい？
511 んふふ じゃあ……私のことはぁ、すきい？
512 私もすきい……んふふっ、勇者君かわいい……
513 < ちゅっ……ちゅっ……んちゅっ……
514 んはぁ……ちゅっ……ちゅぱっ……

515 ちゅっ…………ちゅっ…………んちゅっ…………
516 れろ…………れろ…………ちゅむ…………ちゅっ
517
518 ≡ おちんちん気持ちいいねえ…………
519 お耳も気持ちいいねえ……
520 もつと気持ち良くなりたい？
521 もつともつと私に気持ち良くして欲しい？
522 もう逝きたい？
523 早く私に逝かせて欲しい？
524 んふふ、素直な勇者君かわいい……
525 ≡ ちゅっ…………ちゅっ…………んちゅっ…………
526 んふう…………ちゅっ…………ちゅっ…………あむ…………あむ…………
527 れろ…………れろ…………ちゅむ…………ちゅっ…………
528 ちゅっ…………ちゅっ…………んちゅっ…………
529 ちゅっ…………ちゅっ…………んちゅっ…………
530 んはぁ…………ちゅっ…………ちゅぱっ…………
531 おまけここから
532 じゃあ…………逝かせてあげる……
533 ほら、勇者君、逝きたい時はなんて言うんだっけ？
534 忘れちゃった？ 逝つていいですか？ だったでしょ？
535 大丈夫、今日は言えたらちゃーんと許可してあげるから…………ねっ？
536 大丈夫だから、ほーら、言つてごらん……
537 はい、よくできました、えらーい
538 でも、もう少しだけ我慢しよっか…………我慢した方が気持ちよくなれるからね……
539 私達がら数えてあげるから、ゼロになったらぴゅっぴゅしよっか
540 ぴゅっぴゅするまではずっと「いいいいですか？」って言い続けてごらん？

541 数えながらずっと「いいいいよ」って言うててあげる……
 542 私に許可されていいよっぴゅっぴゅっねっ、いいよ……

543
 544 「おお、れるっ、れるっ、いいいいよ……えっ、ちゅっ、ちゅぶっ、
 545 んちゅっ、れるれるれる……いいいいんらよ……んちゅっ、れる、れるっ……

546 「んぶう、れるれる、ちゅっ、ちゅっ、んぶう、ちゅぶっ、んちゅっ、
 547 れろ、れる、ちゅっ、ちゅむ、んちゅ、じゅるっ、じゅぶっ、んぶう、ちゅぶっ、

548
 549 「よっ、んちゅっ、ちゅっ、いいんらよ……んちゅっ、ちゅむ、

550 ちゅっ、ちゅむ、
 551 れろれるれる……いいいいんね……んちゅっ、ちゅむ、ちゅぶ、

552 「んぶう、れるれる、ちゅっ、ちゅっ、んぶう、ちゅぶっ、んちゅっ、
 553 れろ、れる、ちゅっ、ちゅむ、んちゅ、じゅるっ、じゅぶっ、んぶう、ちゅぶっ、

554
 555 「さっ、んちゅっ、ちゅっ、ピッピッしていいよ……んちゅっ、ちゅむ、

556
 557 れろれるれる……んちゅっ、ぴゅっぴゅっね……んぶう、れるれるれる……

558 「れるれるれる……んちゅっ、れるれるれる、ちゅるっ、ちゅっ、
 559 んちゅっ、はあ、ちゅむ、ちゅっ、んああ、れるれるれるれる……

560
 561 「い、んはあー、じゅぶじゅぶじゅぶ、ぬちぬち、んじゅっ、

562 いいんだよ……
 563 ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……んぶう……んちゅっ、はあ……ぬちぬちぬち

564 「んちゅっ、れるれるれる、ちゅるっ、ちゅっ、んぶう、ちゅぶっ、んちゅっ、
 565 んあ、れるれるれるれるじゅるっ、じゅぶっ、はあ、んちゅっ、ちゅむ、

566

567 × いーち、んはぁ、じゅぶじゅぶじゅぶ、んぶう、
 568 めちぬちぬちぬちぬち、

569 ほら、いくち、らしていいからね……はぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……

570 × んぶう、んぶう、んはぁ、ぬちぬちぬち、ん、ぬちぬちぬちぬちぬちぬち、

571 んぶう、はぁ、ちゅっ、んぁぁ、ぬちぬちぬちぬち、んぶう、ぬちぬちぬちぬちぬ

572 ちぬち、

573 射精

574 ー ぜーろ、んぶぶっ、ぴゅっぴゅっぴゅっ、んぁぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅ、

575 んぶう、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、はぁはぁ……んちゅ

576 いっぱい出してね、んちゅ、ずーっとお耳舐めてあげゆからね……

577 んぶう……ちゅるるっ、んれろ、れろれろれろ、んちゅっ、れろれろれろれろ、

578 んはぁ……ぬちぬちぬち……んちゅっ、ちゅっ、んぶっ、んれえ、ぬちぬちぬちぬ

579 ちぬち……んぶう……ぬちぬちぬちぬちぬちぬち……ちゅっ

580 んちゅっ……ちゅぶっ……れろれろ……ちゅっ……ちゅっちゅっ……んれろっ……

581 んじゅっ、んじゅっじゅっ……ちゅ……ちゅっ……ちゅっ……ちゅっ……

582

583 ー ぶう……ちゅるるっ、んれろ、れろれろれろ、んちゅっ、じゅるっ、

584 れろれろれろ、ぴゅぴゅぴゅぴゅっ、んはぁ、ん

585 んはぁ……ぬちぬちぬち……んちゅるる、ちゅっ、んれえ、ぬちぬちぬちぬちぬ

586 ち……んぶう……ぬちぬちぬちぬちぬちぬち、んぶう、んちゅっ、れろれろれろれ

587 る、んちゅっ、

588 んぶう、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……じえんぶれた？ んぶぶっ、しよっ

589 か……

590 んちゅっ……ちゅっ……ちゅるるっ…… れろれろ……んちゅっ……んじゅっ……ん

591 ぶう……んちゅっ……んちゅっ……れろっ、れるれる……

592 ちゅっ……ちゅっ……ちゅっ……

593 おまけここまで

594

595 いっぱいぴゅっぴゅできたね きもちよかった？

596 すっごくだらしない顔してるよ……か・わ・い・いっ

597 ほら、勇者君、ご主人様にお礼は？

598 ぴゅっぴゅ許可してもらったんだから、お礼言わないとね……んふふっ

599 ほら、ありがとっございましたって言うてごらん？

600 うんうん、偉いぞー どういたしまして ちゅっ (耳にキス)

601 これでわかったでしょ？ 私に飼われる事がどんなにいい事なのか……

602 ぴゅっぴゅする時、私に許可して貰えてすっごくうれしくて、幸せだったよね……

603 勇者君をこんなに幸せな気持ちにしてあげられるのは、

604 この世で私だけなんだよ……

605 だから早く私のモノになってね、ゆーっしやくんっ

606

607 ン ちゅっ んふふふふっ

608 ン ちゅっ んふふふふっ

609

03_おまけ用

612

じゃあ……逝かせてあげる……

613

今日は「逝っていいですか？」の代わりに、

614

「好きです」って言うてごらん？ 言ったら射精許可してあげる……

615

ほら、言うて 好きですって……さんはいつ。

616

617

ああ、勇者君かわいい……

618

うーん、でも、今のは気持ちがこもってなかったからもう一回……ほら……

619

620

かわいい！ 私も好き！ ちゅっ、（耳にキス）

621

じゃあ、出すまでずっと「好き」って言い続けて……

622

623

好きって言うてくれてる間は……

624

またお耳舐めて頭の中ぐちゃぐちゃにしてあげる……いくよ……

625

好き好きって言いながらいっぱいぴゅっぴゅしよう、

626

627

んふう、れるれる、ちゅっ、ちゅっ、んふう、ちゅぶっ、んちゅっ、

628

れる、れる、ちゅっ、ちゅむ、んちゅ、私も勇者君の事しゅきー、じゅぶっ、んぶ

629

う、ちゅぶっ、

630

れるっ、れるっ、ねえ、もって好きって言うて……えーろ、ちゅっ、

631

ちゅぶっ、んちゅっ、れるれるろ……んちゅっ、れる、れるっ…

632

633

んちゅっ、ちゅっ、勇者君好き、んちゅっ、ちゅむ、ちゅっ、ちゅむ、

634

んちゅっ、れるれるろ……んちゅっ、ちゅむ、ちゅば

635

636 ㇿ んふう、れるれる、ちゅっ、ちゅっ、んふう、ちゅぶっ、んちゅっ、
 637 れろ、れろ、ちゅっ、しゅきしゅきい……ちゅむ、んちゅ、じゅるっ、じゅぶっ、
 638 んふう、ちゅぶっ
 639
 640 ㇿ れろれるろ……んちゅっ、れるれるろ、ちゅるっ、ちゅっ、
 641 んちゅっ、はぁ、だいしゅきな……ちゅむ、ちゅっ、
 642 んぁぁ、れるれるれるれるろ……
 643 ㇿ んちゅっ、ちゅっ、しゅーき、んちゅっ、ちゅむ、
 644 れろれるろ……んちゅっ、んふう、れるれるれるろ……
 645
 646 ㇿ んはぁー、じゅぶじゅぶじゅぶ、ぬちぬち、んじゅっ、
 647 ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……いいんよ……いつぱいひらいて……
 648 私のお手々おまんこにいつぱい中出して……んちゅっ、ちゅっ……
 649 はぁ……ぬちぬちぬちぬち……
 650 ㇿ んちゅっ、れるれるろ、ちゅるっ、ちゅっ、んふう、ちゅぶっ、んちゅっ、
 651 んぁ、れるれるれるろ、じゅるっ、もっでちゃうっ、じゅぶっ、はぁ、んち
 652 ゅっ、ちゅむ、んぁ、れるれるれるれるろ……んちゅっ、ちゅぶぶ
 653
 654 ㇿ んふう、んふう、んはぁ、ぬちぬちぬち、ん、ぬちぬちぬちぬちぬち、
 655 んふう、はぁ、ちゅっ、好き、好きい、んぁぁ、ぬちぬちぬちぬち、んふう、ぬち
 656 めちぬちぬちぬち、ちゅきい、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……
 657 ㇿ んはぁ、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ、んふう、ぬちぬちぬちぬちぬちぬち、
 658 ほら、いくよ、らしていいからね……はぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……
 659 ほら、ぴゅっぴゅするよ、んふう、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……
 660

661 射精

662

663 ヲ ふう……ちゅるるっ、んねろ、ねろねろねろ、んちゅっ、じゅるっ、

664 ねろねろねろ、ぴゅゅゅぴゅゅぴゅゅ、んはぁ、ん

665 んはぁ……ぬちぬちぬち……んちゅるるっ、ちゅっ、、んねえ、ぬちぬちぬちぬちぬ

666 ち……んふう……ぬちぬちぬちぬちぬちぬち、んふう、んちゅっ、ねろねろねろね

667 る、んちゅっ、

668 んふう、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……じえんぶれた？ んぶふっ、しよっ

669 か……

670 んちゅっ……ちゅっ……ちゅるるっ……ねろねろ……んちゅっ……んじゅっ……んぶ

671 う……んちゅっ……んちゅっ……ねろっ、ねるねる……

672 ちゅっ……ちゅっ……

673

674 ヲ はーひー、ぴゅっぴゅっぴゅっ、んはぁ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、

675 んふう、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、はぁはぁ……んちゅ

676 いっぱいしてね、んちゅ、ずっとお耳舐めててあげゆからね……

677 んふう……ちゅるるっ、んねろ、ねろねろねろ、んちゅっ、ねろねろねろねろ、

678 んはぁ……ぬちぬちぬち……んちゅっ、ちゅっ、んぶっ、んねえ、ぬちぬちぬちぬ

679 ちぬち……んふう……ぬちぬちぬちぬちぬちぬち……ちゅっ

680 んちゅっ……ちゅぶっ……ねろねろ……ちゅっ……ちゅっちゅっ……んねろっ……

681 んじゅっ、んじゅっちゅっ……ちゅ……ちゅっ……ちゅっ……ちゅっ

04_だっこ素股

もうすぐ処刑の日だけど……どうするか決めてくれた？

ふん、迷ってくれてるんだ

最初はあるなに怖い顔でイヤイヤっしてしたのに……んふふっ
ちよつとは私の事好きになってくれたのかな？

あ、こら、どうして逃げるの！？

逃げられないよ ほら、捕まえた んふふ

ぎゅ~~~~~ もう離さないからね

勇者君が迷ってるなら、私が決めさせてあげる

そんな怖い顔しちゃうや ほら、こっちむいて……

んっ、ちゅむ……んちゅっ、ちゅっ……んあむ、はむっ、ちゅっ……

んちゅ……んんっ……んちゅっ……はむっ、んちゅぶ……ちゅぶ……

んはあ、レロレロレロ……はむ、ちゅ、はむ、んん……

んちゅっ……ちゅっ……んふう……はあ……んん……んちゅっ……

はむっ……ちゅむ……はあ……

んふふっ 大人しくなった

それに、おちんちん固くなっちゃったね……んふふ

チューだけでおちんちん固くしちゃう勇者君ほんとかわいい
いつもみたいに気持ち良くしてあげるからあ、

勇者君の情けなくてかわいいところみせ〜てっ んふふっ

708 今日こそ、勇者君を私の物にしちゃうからね

709 勇者君が逃げちゃわないようにい、

710 このまま、勇者君のスボン脱がすからね……んしょっ……と……

711 おちんちんをふとももで挟んで……

712 んっしょっ……はいできた……

713 あん、勇者君のおちんちんがちょうど私のエッチなところにあたってる……んふふっ

714 こっ……どっこだっ

715 そうだよ、お・ま・ん・こ……今から私のおまんこふとももでえ……

718 勇者君のおちんちんをぬちゅぬちゅっって擦ってあげる

719 あ、おちんちんビクンてした……

720 おまんこっって聞いて興奮しちゃったの？　かわいい……

721 んふふっ、あ、逃げようとしてもダメだからね、

722 勇者君の力じゃ逃げられないよ……

723 ほら、動くよ……

724 んっ、んっ……んふふっ

725 ほーら、勇者君のエッチな所と私のエッチなところが擦れてる……

726 くちゅくちゅ、くちゅくちゅっって

727 私のおまんこヌルヌルしてるでしょ？

728 勇者君が可愛くて可愛くて、

729 勇者君といつでもエッチできるようにこっとなっちゃってるんだよ……んふふっ

730 ヌルヌルして気持ちいいね……

731

732

733

734 ん…………ん…………はぁ……………
735 今日も私に気持ち良くさせられちゃうんだよ……
736 おちんちんをおまんこふとももで擦られてえ、
737 情けなくぴゅっぴゅーってしちゃうの…………んふふっ
738 あ、お顔がとろ～んてしてきた……
739 だっこされて、私の甘い匂いがしてクラクラしちゃうね……
740 勇者君私の匂い好きだもんね……
741 私の匂い嗅いだけで興奮して、おちんちん力チ力チになっちゃう……
742 私の匂いがすると気持ち良くなるって覚え込まれちゃったもんね……
743 ほら、もっと匂い嗅いでいいんだよ……
744 魔王様のあま～い匂いで頭からうばにしちゃお
745 ほら、勇者君ちゅ～、
746
747 んっ、ちゅむ、んぁむ…………んふふっ んちゅ、んんっ、んちゅっ…………
748 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ…………はむ、ちゅ、はむ、んん…………んちゅっ、ちゅっ、ん
749 ふう…………はぁ…………んん…………んちゅっ、はむっ、ちゅっ、ちゅっ…………
750
751 んふふ あまい匂いとチューで勇者君の頭の中とろとろになちゃったね……
752 さつきよりだらしないお顔になってるよ……かわいい……
753 勇者君が私のペットになったら、毎日いっぱいちゅーして、
754 勇者君のこといっぱい気持ち良くしてあげるよ……
755 ほら、こつちゅって……
756
757 んっ、ちゅむ、んぁむ…………んふふっ んちゅ、んんっ、んちゅっ…………
758 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ…………はむ、ちゅ、はむ、んん…………んちゅっ、ちゅっ、ん
759 ふう…………はぁ…………んん…………んちゅっ、はむっ、ちゅっ、ちゅっ…………

760
761 もう諦めて私の物になって……

762 どうせもう勇者君はもう気持ちいい事から逃げられないんからよ……

763 いくらダメって思っても体は気持ち良くなって勝手に反応しちゃう

764 その証拠にほら……勇者君の腰、動いちゃってるよ……

765 へこへこって、んふふ、なちゃけな～い……

766 でも、しょうがないよね～、

767 気持ち良くなる事で頭がいっぱいになっちゃったもんね……

768 私はなちゃけない勇者君も好きだから、もっとなちゃけなくなってもいいんだよ、

769 私のエッチなところに擦りつけていっぱい気持ち良くなって……

770

771 ほら、もっと勇者君の情けない所み～せて……

772 もっと腰振っていいんだよ……へこへこって、んふふっ

773

774 あん そうそっ、勇者君上手～、勇者君かっこいい～、

775 でも、そのままじゃ腰振りにくいでしょう？

776 私に手回し手抱きついてこらん……私も勇者君のこともっとぎゅってしてあげる

777 ほら、おいで～、んふふっ、ぎゅ～っ

778

779 ね？ 腰振りやすくなったでしょ？

780 いっぱい腰振って気持ちよくなるっね……

781 勇者君のエッチな気持ち私にぶつけてね……全部受け止めてあげる……

782 んふふっ、一生懸命腰振る勇者君かわいい……

783 よしよし、いい子だね～……いっぱい甘えていいだよ……

784 ん……んふう……んふふ……あ……ん……すう……すう……（呼吸音）

785

786 ほら、上向いてお口開けて……私のツバ飲ませてあげる
787 んん……んあー……ススッ
788 美味しい？ もつと飲ませてあげる……
789
790 んっ、ちゅむ、んあむ……んふふっ んちゅ、んんっ、んちゅっ……
791 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ……はむ、ちゅ、はむ、んん……んちゅっ、ちゅっ、ん
792 ふう……はあ……んん……んちゅっ、はむっ、ちゅっ、ちゅっ……
793
794 あん 腰激しくなった ツバ飲んで興奮しちゃった？ んふふっ
795 私も勇者君に合わせてもつと腰早く動かしてあげる……
796 ほら、ほらっ、ん、ん、んふう、すう、すう、んん、（呼吸音）
797 んふふっ、ツバももつと飲ませてあげる……こっち向いて……
798
799 んっ、ちゅむ、んあむ……んふふっ んちゅ、んんっ、んちゅっ……
800 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ……はむ、ちゅ、はむ、んん……んちゅっ、ちゅっ、ん
801 ふう……はあ……んん……んちゅっ、はむっ、ちゅっ、ちゅっ……
802
803 私達本当にエッチしてるみたいだね……
804 んふふっ……
805 ねえ……本当にしちゃおっか？ えっち……
806 中に入れてえ……私の中でいっぱい擦るの……
807 ちゅーしながらぎゅっしてたくさんぴゅっぴゅっしてるの……
808 すっごく気持ちいいよ……
809 ほら、勇者君がちよつと腰付き出したら入っちゃうよ……
810 ねえ、勇者君……私とおえっちしよ？ 私は勇者君としたいなあ……んふふっ
811 エッチはダメなのお？

812 じゃあ、このまま私のおまたでぴゅーってする？ んふふっ、
813 ん？ それもダメなの？ なんて？ ダメじゃないよ 気持ち良くなっていいん
814 だよ……

816 もー、ダメダメって言うだけじゃ分らないよ……

817 あ、わかった……私に甘えてぴゅっぴゅーってするのが怖いんでしょ……

818 だからダメダメって言うてるんだ……

819 今出しちゃったらダメになっちゃいそうなんだよね……正解？ んふふっ……

820 ん？ どうしてもダメ？ 腰止めて欲しいの？

821 えー、どうしようかなー…… んふふっ、

822 じゃあ、好きって言って 魔王様の事好きって……

823 そうしたらあ、腰止めてあげる……

824 ほら、ほら、好きって言って……

825 間

826 んー、かわいいー、私も好き、好き好きい！

827 んーちゅっ、ちゅっんっ、ちゅむ、んあむ…… んふふっ

828 もっと、もっと言って…… んちゅっ…… ほら、好きって言って

829 んちゅ、んんっ、んちゅっ…… はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ……

830 はむ、ちゅ、はむ、んん…… んちゅっ、ちゅっ、んふう…… んん…… んちゅっ、

831 はむっ、ちゅっ、ちゅっ…… もっと言うてくれないや、んちゅっ、

832 やめてあげないよ んっ、ちゅむ、んあむんちゅ、んんっ、んちゅっ……

833 はむっ、んちゅぶ、ちゅぶ…… はむ、ちゅ、はむ、

834 ん？ ちゅーしてたら言えない？ んちゅっ、そんなの知らない

835 ほら、ちゃんとと言わないとお…… あむ、ちゅっ…… んちゅっ……

836 んん…… んちゅっ、ちゅっ、んふう…… はあ…… んん…… んちゅっ、はむっ、ちゅ

837 っ、ちゅっ……

838
839 おまけここから

840 んふふっ 好きって言えたご褒美にい、射精許可してあげる

841 ほら、このまま出していいよ

842 んふふっ ダメなの？ ちがうの？ んふふ 違うないよ

843 言っただでしょ？ 私が決めさせてあげるって…… んふふっ

844 勇者君はこのまま出して、私に甘えてダメになっちゃうんだよ……

845 ダメになって私の物になるの

846 これからは私の事だけを考えて、私の言うことだけを聞いて生きていくの……

847 そうすれば私が幸せにしてあげる……

848 ほら出していいんだよ？

849 私に許可もらってぴゅっぴゅするのもう覚えちゃったから、

850 もう我慢できないよね……

851 ほら、だしてていいよ……

852 幸せな気持ちでいっぱい出そう……私に甘えてダメになっちゃおうね……

853 もうダメ？ 出ちゃうの？ だしていいよ、ダメじゃないよ……

854 ほら、ちゅーしててあげるからいっぱい出そうね……

855 んっ、ちゅむ、んちゅっ、ちゅっ、んあむ、はむっ、ちゅっ……ちゅっ

856 んちゅ、んんっ……んちゅっ、ほら、いくよ……んちゅっ、ちゅっ、

857 ちゅるるっうっうう。

858

859 射精

860 んふふっ んちゅっ……ちゅっ……ちゅむっ……、

861 いっぱい気持ち良くなるっね〜

862 んちゅ、ちゅむ……んちゅっ……ちゅっ……んあむ……はむっ、あむ……

863 ちゅっ……んはあ、れるれるれる……んちゅっ……れろれろ……んちゅっ……

864 んっ……んちゅ……はぁ……んちゅっ……はむっ、んちゅぷ、ちゅぷ……

865 はむ、ちゅ、はむ、ん……んちゅっ、ちゅっ、んふう……ん……ちゅぷっ

866 おまけここまで

867 んふふっ、勇者君すっごくだらない顔してる……かわいい……

868 そんなにしがみついて好き好きって……

869 はぁ……かわいい……かわいい……私も好きだよ……

870 んちゅっ、勇者君好き……んふう……んちゅっ……んふう……んふう……

04_おまけ

872
873 んふふっ 好きって言えたご褒美にい、射精許可してあげる
874 ほら、このまま出していいよ...

875 んふふっ ダメなの？ ちがうの？ んふふ 違わないよ。
876 言っただでしょ？ 私が決めさせてあげるって……んふふっ、

877 勇者君はこのまま出して、私に甘えてダメになっちゃうんだよ……

878 ダメになって私の物になるの。

879 これからは私の事だけを考えて、私の言うことだけを聞いて生きていくの……

880 そうすれば私が幸せにしてあげる……

881 ほら出していいんだよ？

882 私に許可もらってぴゅっぴゅするのもう覚えちゃったから、

883 もう我慢できないよね……ほら、だしていいよ……

884 幸せな気持ちでいっぱい出そう……私に甘えてダメになっちゃおうね……

885 もうダメ？ 出ちゃう？ いいよ、ダメじゃないよ……私が許してあげる……

886 情けない勇者くんもカッコ悪い勇者君も全部私が受け止めてあげるからね

887 ほら、出していいんだよ……ほら、出してダメになっちゃおう？

888 あ、出る、でるね……いっぱい気持ち良くなるっね……

889 はーい、お漏らしぴゅっぴゅ……。

890 射精

891 ピュッピュっ、ぴゅっぴゅっぴゅっ、いっぱいでてるね……気持ちいいね……

892 ダメになっていいんだよ……よしよし……いい子……

893 幸せだね……ぎゅってしてあげるから……全部だしちゃうね……

894 ほっら、ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅるぴゅるぴゅる～

05_らぶらぶ発情子作り逆レイプ

895
896 ねえ、勇者君……私とエッチしようか……

897 勇者君のかわいい姿みてたら我慢できなくなっちゃった……

898 ずっと我慢してたからちよと乱暴になっちゃうかもしれないけど……いいよね？

899 勇者君のこといっぱいかわいがってあげるから、ね？

900 エッチはダメなの？ なんで？ さっきはあんなに好き好きって言ってたのに……

901 ダメじゃないよ……

902

903 んちゅっ、ちゅっ、んふう、んちゅっ、ちゅっ、んちゅ、ちゅむ……

904 んちゅっ……んはぁ、れるれるれる、んふう、れるれるれる……

905 ちゅっ、んあむ、はむっ、あむ、ちゅっ、んちゅっ、れるれる、ちゅぶっ、

906

907 はぁ……はぁ……

908 ほら、さっき出したばっかりなのにおちんちんこんなに大っきくして……

909 おちんちんはしたいって言ってるよ……

910 はぁ……本当は勇者君もしたいよね？

911 無理矢理されるの好きだもんね……全部分かってるんだから……

912 はぁ、はぁ……もうダメって言っても知らない……もう我慢できないもん……

913 勇者君は私に勝てないんだから、私の言うこと聞くしかないの……

914 S E 押し倒す音

915 ほら、勇者君の事押し倒しちゃった……

916

917 はぁぁ……今から勇者君は私に無理矢理犯されちゃうんだよ……んふう……

918 ほら、私のあそこからもうエッチなお汁があふれちゃって、

919 勇者君のおちんちに垂れちゃってる……はぁ……はぁ……

920 全部全部、勇者君が可愛すぎるのが悪いんだからね……
921 そうだよ……勇者君が悪いんだよ……（ここで戻る）

922
923 はぁ、はぁ……もう我慢できない……

924 んふう……んはぁぁぁ……はぁ、入っちゃった……

925 はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……

926 んっ……あはぁ……ん、ん……ん、はぁ……

927 勇者君……

928 んちゅっ、ちゅっ、んはぁ、えろ、えろ……んちゅっ、

929 んふう、んちゅっ、ちゅむ、

930 はぁ……はむ、んちゅ、ちゅぶ、ちゅ、んち、んはぁ

931 ほら、勇者君、犯されちゃってるよ……んちゅっ、ちゅっ、はぁ……はぁ……

932 ほら、ほらぁ……あ、んんっんちゅっ……ちゅぶっ……私の中気持ちいいでしょ？

933 あったかくてとろとろで……んちゅっ、ちゅむ……はぁはぁ……

934

935 私ね、すごく興奮してるの……ん、ん、ん、はぁ……

936 だって、勇者君がこんなにかわいいんだもん……

937 んふう、んふう……勇者君の事めちゃくちゃにしくなっちゃった……

938

939 ん、あ……はぁ……勇者君も、興奮してるよね？

940 だって、勇者君のおちんちんおちんちんすごく硬い……

941 私に犯されて……興奮しちゃってるんだ……かわいい……

942 勇者君は無理矢理が好きな変態だもんね……ん、ん、

943 はぁ……違っの？ はぁ、はぁ……ん……ん……

944 嘘ばかり……勇者君かわいい……

945

946 んっ、ちゅむ、んちゅっ、ちゅっ……んあむ、はむっ、ちゅっ……
947 んちゅっ、ちゅっ、んふう、はぁ……んん……んちゅっ、はむっ、ちゅむ……はぁ
948 ……んちゅっ、んちゅぶっ、ちゅ……はぁはぁ……

949
950 勇者君は変態なんだよ……んふう、んふう……

951 無理矢理犯されて興奮しちゃう変態……

952 ほら、ほらぁ、はぁはぁ……もっとして欲しいんでしょ？

953 わかってるんだから……素直に言えたら……もっとしてあげる……

954 ん、ぁ……はぁ、はぁ……んんっ、ほら、言ってごらん？

955 んはぁ……はぁ……ん、んん……ぁ、ん……ふう……ふう……

956
957 うん……うん！

958 もっとしてあげる……

959 もっと犯して、もっともっめちゃくちゃにしてあげるっ！

960
961 んっ、ちゅむ、んちゅっ、ちゅっ、んあむ、はむっ、ちゅっ、

962 勇者君好き……好きい……ん、んちゅっ……はぁはぁ……

963 んちゅっ、ちゅっ、んふう、はぁ……レロレロレロレロ……はむっ、ちゅむ……

964 んふう……んちゅっ、んちゅぶっ、ちゅ……はぁはぁ……

965 素直になれたご褒美に勇者君の好きなお耳……舐めてあげる……

966
967 んぁぁ、んちゅっ、れろっ、れろっ、れっっ、んんっ、んふう……

968 はぁ……んんっ、ぁぁ、んちゅっ、んふう、んふう、れろれろ、んちゅっ、ちゅっ、

969 はぁ、はぁ……勇者君のかわいい声出てる……ちゅっ、ちゅっっ、んふう、んっ、

970 ちゅう、んはぁ……れろれろれろれろれろ、んふう、んちゅっ、

971 ちゅぶっ、ちゅっ……んふう……勇者君お耳弱いもんね……んちゅっ、

972 はあ、はあ……んちゅっ、ちゅる、ちゅっ、
973 もっとあ、もっとかわいい声聞かせて……

974
975 んはあ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、んはあ……はあ……んふらっ、
976 はあ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、
977 はあ、はあ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、んはあ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ
978 ……はあ……

979
980 んふら……ピクピクして、かわいい、んちゅっ……そんなに気持ち良かったの？
981 はあ、はあ……んっ、んん、ちゅっ、んちゅっ……あ、はあ、はあ……

982
983 じゃあ、じつちのお耳も……
984 犯してあげる……

985 んはあ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ
986 んはあはあ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、んふら、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、
987 はあ、はあ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……んはあ……

988
989 はあ、はあ……勇者君もっとかわいいお顔になった……
990 はあ……かわいい……んん、んはあ、はあ……んっ、ん……

991 今度はお口……

992
993 んちゅ、ちゅむ、んちゅっ、ちゅっ……んあむ、はむっ、ちゅっ……
994 ほら、ちゅばのまへてあげゆ……んちゅっ、ちゅっ……おくひあけへ……
995 んん……んふら……んあー、んちゅっ、んふら、ちゅる、んちゅっ、
996 おいひい？ んちゅっ、もっと、のんれ……んちゅっ、ちゅっ、んん……ちゅるる、
997 ちゅぶ、ちゅっ、んふら、んふら、ん、んちゅっ、はむっ、ちゅむ、

998 んはぁ……はぁ……はぁ……

999 勇者君の事、全部犯しちゃった……んちゅっ、ちゅっ……

1000 はぁ、はぁ……これでもう勇者君は私のものだから……んっちゅっ……

1001 私の……私のお！ んっ、ん、んちゅっ、ちゅ、勇者君は私の……んんっ！

1002 ちゅぶ、ちゅっ、んふう、んふう、んちゅ、ん、んんっ！ ちゅぱっ……

1003

1004 はぁはぁ……ねえ勇者君、私と子供つくろっ……んん、

1005 あ、んん、あ、私、勇者君の子供欲しい……はぁはぁ……

1006 魔王と勇者の子供だよ……んふふっ……ん、はぁ、はぁ……

1007 ダメじゃないよ……

1008 勇者君は逃げられないんだから……

1009 んふう、はぁ、それに勇者君はもう私の物なんだから、

1010 ちゃんと私の言うこと聞かないとお、あ……ダメ、なんだよ、んんっ、

1011 ん、ん、あ、んんっ、んふう、んふう……

1012 ダメダメって……勇者君かわいい、はぁはぁ……

1013

1014 んちゅっ、れろっ、れろっ、んふう……れうっ、んんっ、んちゅっ、

1015 ダメダメって言う割にはぁ、子作りって聞いて腰動いちゃってるよ……

1016 んふう、はぁ……ホントはしたいんでしょ？ ん、あ、んん、はぁはぁ……

1017 嘘つき勇者君にはぁ、お仕置き、しないとねっ……んんっ！

1018 お仕置きは……こじゅくりの刑だぞっ……んんっ！

1019 んふう、んふう、勇者なのに、魔王の子作り手伝っちゃうんだよ……んふふっ

1020

1021 おまけここから

1022 ほら、ほらあっ！ んんっ！ あ、んん、んふう、んふう、んちゅっ、ちゅっ、

1023 ほら、勇者君、私を孕ませて……ちゅむ、ちゅぶ……

1024 私は勇者君のこと大好きだよ……だから、ね？

1025 んちゅっ、あ、んん、ちゅうつ、んふう、ちゅう、

1026 んちゅっ、んちゅっ、れろれろれろ、んふうう、んちゅっ……

1027 好き、好きなのお……はあ、はあ……んちゅっ、ん、んんっ……

1028 んちゅっ、ちゅっ、はあはあ……勇者君、勇者君っ！

1029 好き、すきい……んん、ちゅーしょ……

1030

1031 んちゅっ……ちゅっ、ちゅぶ、ちゅっ、んふう、んふう、んん、んちゅっ、

1032 はむっ、んん！、んちゅっ、んん、ちゅっ、ちゅむ、ちゅうつ、

1033 はあ……はあ……もう限界？ いいよ、ほら、出して！ 出してえ……

1034 ん、んん、勇者君好き！ 好き！ 好き！

1035 大好きいいいいんんんんっ！

1036 射精

1037 ん、んん……はあ……はあ……出てる……

1038 勇者君のせーし……はあー、はあー……

1039 んっ、んん……んふうっ……はあ……はあ……ほら、全部だして……んっ……

1040 ぴゅぴゅーって……んん……んふうっ、勇者君かわいい……はあ……はあ……

1041

1042 勇者君チユー、んちゅっ、ちゅっ……ちゅぶっ、ちゅっ、れろれろれろ……

1043 ちゅむ、あむ、んちゅっ、ちゅぶ……んふう、んふう

1044 じえんぶれた？ ……ちゅっ、ちゅむ……ちゅぶっちゅっ……

1045 しょっか……んふうっ……ちゅっ、ちゅぶ

1046 はあ……はあ……

1047 おまけに……

1048 ねえ、勇者君……もう一回しょっか……もう一回っ

1049 うーん、やっぱりもう一回と言わず子供が出来るまで何回も何回も……

1050 ダメえ？ ホントかなあ？

1051 勇者君は嘘つきだからなあ〜

1052 まあ、勇者君に拒否権なんてないんだけどねっ んふふっ

1053 勇者君は私に可愛がられる運命なんだよ

1054 これからもっともっ〜と可愛がってあげるからね、

1055 ゆうしゃくんっ (ちょっとゆっくりリズムカルに)

1056 ちゅ〜 (言葉で言う感じ)

1057 ちゅっ

05_おまけ

1058

ほら、ほらあつ！ んんっ！ あ、んん、んふう、んふう、んちゅっ、ちゅっ、
ほら、勇者君、私を孕ませて……ちゅむ、ちゅぶ……

1060

私は勇者君のこと大好きだよ……だから、ね？

1061

んちゅっ、あ、んん、ちゅっ、んふう、ちゅう、

1062

んちゅっ、んちゅっ、れろれろれろ、んふうう、んちゅっ……

1063

好き、好きなお……はあ、はあ……んちゅっ、ん、んんっ……

1064

んちゅっ、ちゅっ、はあはあ……勇者君、勇者君っ！

1065

あ、ん……私も……イキそう……んん、ちゅーしょ……

1066

1067

んちゅっ……ちゅっ、ちゅぶ、ちゅっ、んふう、んん、んちゅっ、

1068

はむっ、んん！、んちゅっ、ちゅむ、ちゅっ、

1069

んふう、んちゅっ、ちゅっ、らして、らしてえ！ ん、んん、んちゅ、

1070

あ、あ、ああ！ もうだめ、いっちゃう……んんっ！

1071

勇者君しゅきい、ちゅっ、しゅきい！ んちゅ、あ、んイク、イク……んちゅ

1072

ちゅ、ちゅっ、ちゅむうううううううううう！

1073

射精 絶頂

1074

ん、んん、あ、はあっ、はあっ、んふう……、ん……んちゅ、ちゅっ……

1075

はあー……はあー……れてる……んちゅっ……ちゅっ……んふう……んふう……

1076

ゆーひゃくのせーし……いっぱい……はあ、はあ……

1077

んっ、んん……んちゅ、ちゅむ……んあはれろれろれろ……

1078

んふうほら、もっとなして……んっ……ぴゅぴゅーって……

1079

んん……んちゅっ……ちゅぶ……ちゅっ……ちゅっ……

1080

ちゅむ、んちゅっ、ちゅぶ……んふう、んふう

1081

じえんぶれた？ ……ちゅっ、ちゅむ……ちゅぶっちゅっ……

1082

1083 しょっか……んふふっ……ちゅっ、ちゅぷ
1084 はぁ……はぁ……

06_エピソード

1086

ん？ どうしたの勇者君……そんな暗い顔して……

1087

あれ、言ってなかったけ？

1088

色々細かいことは省くけど、私は勇者君と子供を作って

1089

人間と仲良くしたいなって思ってたんだけど……

1090

そっか、言ってなかったか……、ごめんね

1091

1092

ごめんってば……最初からそのつもりだったんだけど……

1093

勇者君がかわいいからつい意地悪しちゃった……

1094

それに話しても信じてくれないかなーと思って……

1095

そついつことだから別に勇者君が落ち込むことないんだよ！

1096

だからこれからもいっぱい子作りしようね勇者君

1097